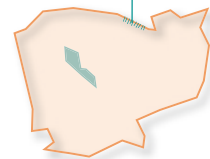




2020 年度

GREEN WIND ASIA 活動報告

CAMBODIA



SIEM REAP/
ANGKOR

+mekong
basin
countries

JAPAN

TOYAMA

TOKYO



G W A とは

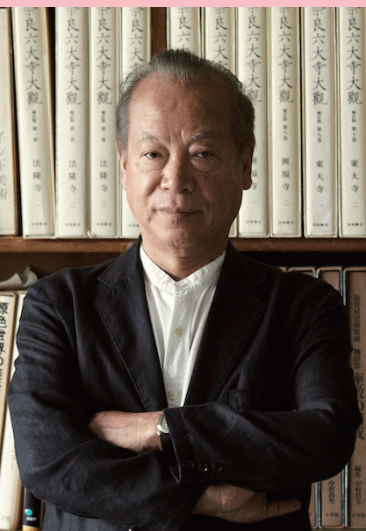
近・現代におけるメコン川流域諸国は、経済発展を第一とした開発を優先させてきました。それは地域に対してバスに乗り遅れないための利益を生む一方で、背景では豊かな自然と伝統文化、それを象徴する文化遺産が失われつつあることも事実です。否応なく世界は変わっていくでしょう。しかし、気づいてみたら、いつの間にか、ではなく、しっかりと変化を見届けていたいと思います。

私は 1991 年からカンボジアの遺跡修復関係の活動をしてきましたが、そのなかで伝統文化と自然を、地域の人々とともに大切にすることの意義を感じました。2005 年に、前身となるアンコールやまなみファンド (AYF) を設立し、遺跡周辺の小学生に修復活動を紹介したり、遺跡に隣接するアンコール・クラウ村にフリースクール「や

まなみ塾」を建設したりと、地域の子どもたちの情操教育の支援や交流会を行ってきました。将来、カンボジアの子どもたちに地域の文化遺産を守ってほしい。GREEN WIND ASIA は今までの活動を引き継ぐため、2014 年に設立しました。

コロナウイルスのパンデミックにより、世界中が困難な状況にありますが、このような時だからこそ、互いに支え合えるような国際的協調の方法をみなさんと考えていきたいと思っています。

代表／中川 武



文化遺産を

守る



日本とメコン川流域国にて、地域の文化遺産を保全する活動を行っています。

伝える



多くの方に、各地の文化遺産に触れていただく機会を創出しています。

育てる



地域の文化遺産を、地域の方々と守っていきけるように教育支援を行っています。

2020年度の活動歴

2020年4月～2021年3月までの活動歴をまとめました。
これまでの文化遺産を「守る」「伝える」「育てる」ための各事業を継続するとともに、2020年度は富山県内の茶室「静古庵」を移築し保存活用する

ための調査協力を行いました。
また、コロナ禍でもみなさまに参加いただけるようなプログラムを事務局にて考案中です。
各事業の実施内容の詳細は、次ページ以降をご覧ください。

守る



文化財お掃除プロジェクト

「照田家住宅」のお掃除／月2回

伝える

世界の建築写真アーカイブ

デジタル化した写真をSNS・Webにて発信／月1回程



フォトブックをWeb公開

育てる



「やまなみ塾」教育支援事業

8/27
支援金の送金

10/3
校舎補修のための緊急調査

フォトブックをWeb公開

4
2020

5

6

7

8

9

10

11

12

1
2021

2

3

守る



11/18
茶室移築のための調査協力

富山「静古庵」の実測調査

7/17
総会（オンライン）

6/28
理事会（オンライン）
Webページのリニューアル公開

事務局／月1回程



2020年度の 活動報告



文化財お掃除 プロジェクト

— 東京・登録有形文化財「照田家住宅」

「文化財お掃除プロジェクト」は、お掃除を通して、名建築を身近に体感しながら維持していこうという活動です。

現在は、登録有形文化財の「照田家住宅」にて、月2回のお掃除を行っています。

「照田家住宅」は、昭和28（1953）年に建てられました。洋風の応接間をもつ和洋折衷型の住宅です。建具や欄間などの細部意匠が多様で、銘木も随所に用いられています。ていねいなお掃除を心がけています。



（▶詳細は p.10）

「名建築でお掃除を」
Web にて連載中！

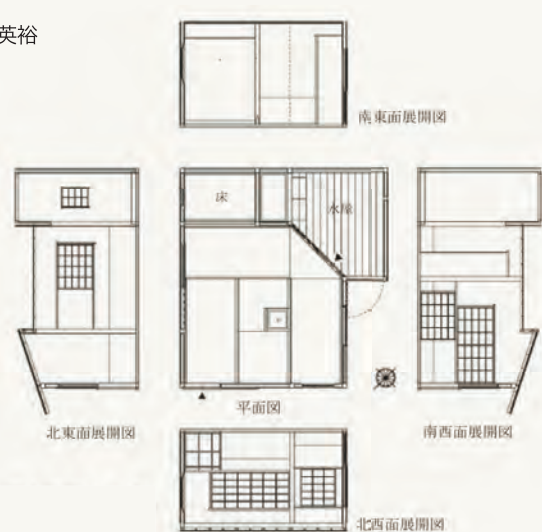
建築の魅力と
掃除のノウハウを
お伝えします



撮影／黒岩千尋



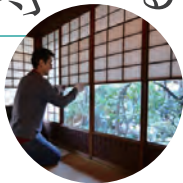
写真上／「照田家住宅」の玄関。2種類のはたきを使い分けてお掃除中。下／2階は十畳と八畳の二間。写真奥の円窓が特徴的。廊下をお掃除中。



撮影／森本英裕

2020年度の 活動報告

守る



茶室移築のための 調査協力

— 富山・茶室「静古庵」

「静古庵」は中村昌生（設計）と中村外二（施工）が1966年に富山市内に竣工した茶室です。建築史家として『茶室の研究』を記し、また自身でも茶室を手がけてきたことで知られる中村昌生氏のはじめての作品です。

が、今まで未発表となっていました。職藝学院准教授でGWA会員でもある森本英裕氏が所在を確認し、今後の移築保存と登録有形文化財への申請に向けて、GWAが調査に協力する運びとなりました。

2020年11月に森本氏と代表・中川、事務局・黒岩で調査を行い、富山県および市の文化財担当の方などと打ち合わせを行いました。今後の進展についても、引き続きご報告させていただきます。

写真左上／茶室西側の下地窓と色紙窓。
左下／茶室は土蔵の1階に組み込まれている。右上／茶室南側の床の間と茶道口。半畳の鱗板が特徴的。右下／茶室北側の欄口と下地窓。



(▶詳細は p.10)



フォトブックを
Web にて公開中！

Instagram や
Facebook でも
写真を掲載しています



GREEN WIND ASIA: 夢の世界建築史
Film Archive 2020

2020 年度の 活動報告

伝える

世界の建築写真 アーカイブ

撮影／中川 武



写真左／ルワンワリサーヤ
仏塔、古代都市アヌラダ
プラ、スリランカ、1982 年
撮影。中／メムノンの巨像、
エジプト、1990 年撮影。右
／フエの宮城、ベトナム、
1996 年撮影。

代表の中川武が 1970 年
代後半から撮りためてき
た、世界各地のフィルム
写真をデジタル・アーカ
イブしています。

2020 年度は 10 カ国
4,000 枚ほどをデジタ
ル化。そのうち厳選した
40 枚ほどに紹介文をつ
け、ウェブや SNS で公
開してきました。

なかなか海外旅行に行く
ことができない今、フィ
ルム写真と言葉で、世界
の建築を楽しんでいただ
ければと思っています。

【バイヨン寺院、カンボ
ジア、1996 年撮影】

1996 年 7 月のバイヨ
ン北経蔵修復工事に初
めてラフタークレーン
(25t) を導入。カンボ
ジア人オペレーターの
訓練を始めた。オペレ
ーター候補生たちは、日
本人専門家の腕に対し
て、一せいに驚きの声
を発していた。

(文／中川 武)



写生大会の様子が
フォトブックに
仕上がりました



2019 年に行った写生大会で、村の子どもたちが描いたバイヨン寺院。



「やまなみ塾」の
歴史を Web にて
連載開始！

(▶ 詳細は p.10)

2020 年度の 活動報告

育てる



「やまなみ塾」
校舎の補修に向けて
— カンボジアの教育支援事業

アンコールやまなみファンド (AYF) が 2005 年に設立し GWA がその活動を引き継いできた、フリースクール「やまなみ塾」は、住民や子どもたちの要望により多目的ホールと図書室が富山の株式会社 三田商会 (土肥良治代表取締役社長) のご寄付により増築さ

れ、メンテナンスを続けていくことができました。この場所は今も森の中の開放的な集い場となっています。コロナにより、子どもたちとの写生大会を開催できていませんが、少し傷んできた校舎の補修を行おうと思い、補修箇所の緊急調査を行いました。

今後のメンテナンスの方針と、緊急で補修を行う必要がある部材を、現地の協力者の方々に確認していただきました (2020 年 10 月)。

撮影 / 石塚充雅



写真左 / 「やまなみ塾」の校舎周辺で遊ぶ子どもたち。右 / 補修が必要な遊歩路スペース。



2020 年度は引き続き、予定していた活動の大部分を制限しました。そのため、「やまなみ塾」の協力金や多くの方々へ文化財の魅力を伝えるための建築見学ツアーや広報資料の制作など一部の予算は、次年度の活動予算分として繰り越したいと思っています。次のページをご覧ください。

2020 年度の 収支報告

貸借対照表

	科目	金額		
Ⅰ 資産 の部	1 流動資産			
	現金預金	¥901,881		
	流動資産合計			¥901,881
	2 固定資産	¥0		
Ⅱ 負債 の部	1 流動負債	¥0		
	2 固定負債	¥0		
Ⅲ 正味財 産の部	前期繰越正味財産額		¥616,706	
	当期正味財産増減額		¥285,175	
	正味財産合計			¥901,881
	負債及び正味財産合計			¥901,881

収支決算書

科目		予算額	決算額	増減
	1 会費	¥200,000	¥155,000	¥-45,000
	2 受託事業収益	¥510,000	¥470,000	¥-40,000
	3 協賛金	¥400,000	¥400,000	¥0
	4 寄付金	¥100,000	¥0	¥-100,000
	5 利息	¥1	¥5	¥4
経常収益計		¥1,210,001	¥1,025,005	¥-184,996
	1 事業費			
	「照田家住宅」維持管理	¥510,000	¥470,000	¥-40,000
	「やまなみ塾」協力金	¥400,000	¥261,523	¥-138,477
	建築見学ツアー開催	¥100,000	¥0	¥-100,000
	運営協力謝礼	¥50,000	¥0	¥-50,000
	会議費	¥10,000	¥0	¥-10,000
	広報・印刷製本費	¥50,000	¥0	¥-50,000
	2 管理費			
	ウェブ更新費	¥20,000	¥6,930	¥-13,070
	消耗品費	¥10,000	¥0	¥-10,000
	通信運搬費	¥10,000	¥1,377	¥-8,623
	旅費交通費	¥5,000	¥0	¥-5,000
	経常費用計	¥1,165,000	¥739,830	¥-425,170
	当期経常増減額	¥45,001	¥285,175	¥240,174
Ⅲ 経常外収益		¥0	¥0	¥0
当期正味財産増減額			¥285,175	
前期繰越正味財産額			¥616,706	
次期繰越正味財産額			¥901,881	

2021年度の活動・収支計画



(▶詳細は p.10)
2021年5月から
「夢の世界建築史」の
連続講義を配信中！



文化遺産のあれこれや
「やまなみ塾」関連の
Web 連載を開始！



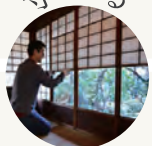
収支計画書

「やまなみ塾」の校舎補修のための予算と、建築見学ツアーの代わりとして講義動画などの配信予算を、昨年度の繰越し金から見積もっています。

科目		金額
I 収入 の部	1 会費	¥250,000
	2 受託事業収益	¥510,000
	3 協賛金	¥200,000
	4 寄付金	¥150,000
	5 利息	¥5
	収入計	¥1,110,005
II 支出 の部	1 事業費	
	「照田家住宅」維持管理	¥520,000
	「やまなみ塾」協力金	¥450,000
	オンライン講座制作実費	¥150,000
	運営協力謝礼	¥50,000
	会議費	¥10,000
	広報・印刷製本費	¥200,000
	2 管理費	
	ウェブ・Zoom更新費	¥40,000
	消耗品費	¥5,000
	通信運搬費	¥5,000
	旅費交通費	¥5,000
	支出計	¥1,435,000
当期正味財産増減額		¥-324,995
前期繰越正味財産額		¥901,881
次期繰越正味財産額		¥576,886

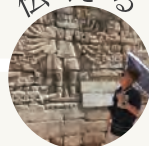
「照田家住宅」お掃除プロジェクト、茶室「静古庵」移築・登録文化財申請のための協力を継続。さらに他地域でも文化遺産の保存活用のための調査協力を考案中です。

守る



今年度も、建築ツアーや「やまなみ塾」訪問ツアーは開催延期予定ですが、代わりに多くの方にご覧いただけるようにオンライン講演会や動画配信を行ってまいります。

伝える



まずは「やまなみ塾」の校舎の補修から開始します。年度末には、カンボジアの関係者に協力いただき、子どもたちへの教育支援活動も再開していきたいと考えています。

育てる



東京都認証 NPO 法人 GREEN WIND ASIA

設立 2014 年 12 月 1 日
会員 95 名 (2020 年 4 月現在)

事業の種類

- ①文化財保護の重要性に関する
一般市民への啓発事業
- ②一般市民および専門家の交流と
相互理解の促進事業
- ③保存修復技術専門家の
教育支援事業
- ④文化遺産周辺地域の
教育支援事業

役員

理事長／中川武
副理事長／木谷建太
副理事長／黒岩千尋
理事／岡田寛
理事／山岡直子
監事／小岩正樹
名誉顧問／多賀正夫

事務局

石井由佳 萩原安寿 岩井 亮
杉本功太 水野結唯 高瀬道乃
成井 至 黒岩千尋 宮部有希

最 新 の 活 動 を
ぜひご覧ください！



Web

<http://greenwindasia.org/>



Facebook

<https://www.facebook.com/greenwindasia/>



Instagram

https://www.instagram.com/green_wind_asia



YouTube

<https://youtube.com/channel/UCqnpCxWjPpuJDt0aYi7DOPA>



NPO 法人 GREEN WIND ASIA
2020 年度報告書

発行
GREEN WIND ASIA 事務局

編集
黒岩千尋

お問い合わせ
info.greenwindasia@gmail.com